

# 令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 浅川 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

### 1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善とともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における保健体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 調査内容

#### (1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走・20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択するため8種目となる

#### (2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

#### 全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

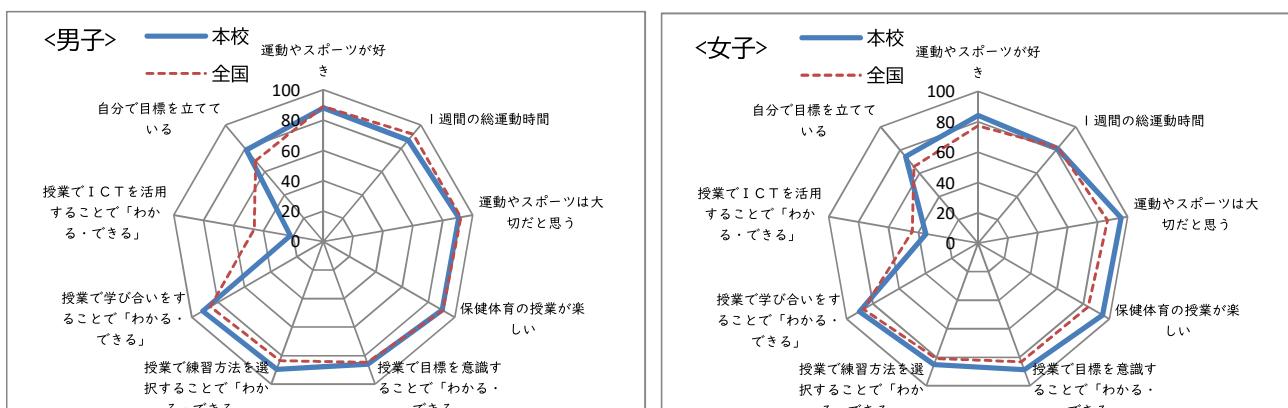
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	28.99	25.74	43.87	51.05	409.81	78.07	8.06	196.89	20.28	41.04
本市	29.89	26.05	45.62	51.43	411.48	79.38	7.98	200.49	20.64	42.89
本校全国平均以上の種目	○	○	○	○	未実施 (シャトルラン選択のため)	○	○	○	○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	23.21	21.67	46.07	45.81	302.89	51.60	8.96	167.04	12.45	47.42
本市	23.48	21.58	47.11	45.64	303.38	50.85	8.95	169.09	12.41	48.27
本校全国平均以上の種目	○	○	○	○	未実施 (シャトルラン選択のため)	○	○	○	○	○

### 4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

#### 質問紙調査レーダーチャート



#### 質問紙調査の結果分析

男子は「授業でICTを活用することで『わかる・できる』」が全国平均を24.2ポイント下回った。「1週間の総運動時間」が全国平均を5ポイント以上下回った。また、その2項目以外は全国平均と同等か全国平均をやや上回った。  
女子は「授業でICTを活用することで『わかる・できる』」が全国平均を9.1ポイント下回ったが、その項目以外は全国平均と同等がまたはを全国平均を上回った。特に「運動やスポーツは大切だと思う」「保健体育の授業が楽しい」の2項目は全国平均を10ポイント程度上回った。

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で）

生徒が授業中に自分の動きの確認などをタブレットの動画撮影機能を使って行ったり、授業のまとめや振り返りをタブレットに入力させたりするなど、ICTを活用した授業場面を増やすなどの授業の改善を行う。

#### ② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

浅川中学校で伝統となっているサークル活動を授業開始時に実施する機会を増やす。また、昼休みに生徒会の体育委員会が主となってボール貸し出しを行い、運動の機会を増やすようにする。  
体育系の部活動の所属率が下がりつつあるので、積極的な勧誘を進める。